

■ 水琴音風水「水火の道」

水琴は天の気を降ろす

水琴を風水として活用することは出来ないでしょうか。水琴には風水と全く同じような運氣上昇のメカニズムがあることが分かりました。ではどうやって実際に使うのかを考えていきたいと思います。

風水とは、前述したように天の気、地の気、人の気を「通す」ことが大切とされています。つまり気の流れを作り出し、その流れの中に身を置くことで、「天地人合一の宇宙」を創り出すのです。

その中で水琴は天の気を降ろすことに役立ちます。天の気とは時間の流れに代表される天命、運命を左右するとされる気の流れです。宇宙からの気の流れを取り込むと考えて下さい。

肉体のない天上で呼吸するとしたら、空気を吸えない天界では何を呼吸するのでしょうか。私の答えは「音」です。音を吸収する事であな自身魂は保たれ活力を得ることが出来るのではないかと考えています。音とは振動の象徴です。振動によって宇宙が始まったと言われているように振動がないところでは何も存在しません。

最近の先端科学では高周波、超音波が脳にエネルギーを与えるとという事が言われていますが、音はあなたの目の前にある物質に影響を与えるだけではありません。あなたのココロ変わる「心」にも影響を与えるのです。「天の気」は宇宙、精神、天上と言われる世界の気の流れです。ですからそれらの気をあなたの暮らす空間へ流し込む事が天地人の気の流れをつくるためには大切なことになるわけです。

天の気を降ろすとは、運命（天命）を心いくまで楽しむということでもあり

ます。「天の気」と「地の気」、そしてあなたの「人の気」が連携して山のせせらぎのように美しい音を奏でて流れているなら、あなたには何の問題もありません。あなたは一つ一つの出来事に充実感を感じ、そして感謝し、自由に幸福に生きているはずです。

確かにそういう瞬間はありましたね。そういう時間を感じたら、その時「幸せだなあ」「ついているなあ」「嬉しいなあ」と言葉にしてみましよう。そうすることでまた天の気とあなたの人の気は共鳴するのです。その流れを邪魔する余計な低周波は存在しにくくなるのです。

でもちよつと待ってください。地の気を忘れないで下さいね。地の気とは、あなたを取り巻く環境です。ここにはあなたの周波数とは関係なく低周波なものから高周波なものまでありとあらゆる出来事、物質、人が存在しているので、

水琴音風水は水琴の音を空間に効率よく置き、響かせる事で、気の流れを調整していきます。そしてあなたの人生そのものが、川の流れのように自然に緩やかに、時にはダイナミックに流れはじめるのです

音風水は水琴で完成する

水琴の音は天と繋がります。天上の音風景と私が呼ぶのはそういうわけです。その流れからあなたの人生の吉凶も占われてきました。

そして大地と繋がるのは水の音です。水は様々な形に変化して龍として恐れられ崇められてきました。風水では水は情報を記憶して遠くまで運ぶとされています。その二つの気の流れを一つの音として調整し、水琴音風水は完成します。

水琴の音は、自然界のリズムを提供します。それは、あなたにはどうすることもできない絶対的なもの。『絶対時間』です。

もちろん時間そのものも相対的かも知れませんが、時間という概念のその先には、瞬間の繰り返しという永続性があります。太陽は沈み、月が昇り、そし

てまた冬がきて、新年を迎えるように、全てのものは停止することなく続いていくのです。

それが時間の永続性です。

その永続性の中に、絶対を見つげるからこそ、私たちはあきらめることなく生きて行けるのです。そしてその繰り返しに自分を委ねることで幻想として存在してきた自我を克服出来るのです。

そして水は常に変化します。その結果が雲であったり、せせらぎであったり、雲であったり、海であったりします。そしてその変化は「無常空間」を構成します。

無情なるもの。無常であることがこの世の中の常です。そしてその無常が空間を構成しているのです。

水は同じところでも同じ形は二度と出来ません。同じ形を期待することすらあなたはしないでしよう。その究極の流動性を風水では「龍」と呼んできたのです。

変化しないもの、変化するもの、その二つが天地の気の流れを作り出し、あなたを包み込むのです。その二つの音風景が作り出す「絶対時間」と「無常空間」の中であなたは完成します。

あなたは「完成したあなた」という結果の中で、音風水を体験するのです。

「天の気」「地の気」の間をあなたという「人の気」が自由に流れるのです。

水琴はあなたが一番長く時を過ごす場所に置いてください。龍雲が上がるかも知れません。あなたの中に天啓が降りるかも知れません。

あなたはずっとその瞬間を期待してきましたね。不思議はありません。あなたの中でこれから起こることは、あなたの必然なのです。

風水は数千年の時を経て音風水として完成する日を待っていたのかもしれない。

なぜなら音はすべての事象の結果でもあるからです。あなたがどんな意図を持とうともあなたは音によって振動によって生じたのですから。そして生じた全ての結果として音は完成するのです。

これからもあなたを維持していくのは音であり振動なのです。水琴が完成することで、音風水は完成することが可能になったのです。

水琴が天の気を導く

水琴の音は高周波を多分に含みます。高周波は音の共鳴という原理で生まれることは先述しました。

お気に入りの唄を道で歌うのと、お風呂で歌うのでは全く違いますね。お風呂で歌うと「私、歌手になれそう」とか思ってしまうませんか。それはあなたの声がお風呂場の壁にあたって乱反射することで共鳴しているからです。

共鳴するとあなたの声は複雑な音の構造になります。様々な音が生まれるのです。あなたのメロディーは、和音を伴って聴こえてくるのです。それを倍音効果といいます。カラオケでエコーと呼ばれる音響効果がありますね。あれがその共鳴を擬似的に作り出す技術です。

古代から、教会で賛美歌を歌うと天使の声が聞こえると言われてきました。その天使の声こそ倍音効果が生まれた倍音のことなのです。

さらに賛美歌は和音を組み合わせることで倍音効果を高め、教会は天井を高く筒状にすることで、天使の声はますます美しく天から舞い降りてくるように聞こえるようになったのです。教会で合唱を聞くと本当に感動させられますね。

東洋では歌ではなく読経が仏様の声でした。大きなお堂の中で同じフレーズを多勢で唱えると倍音が生まれ心の声が聞こえるのです。

水琴は天使の声、仏様の声を現代に届ける役割もあるのかもしれませんが。

宗教的には、高周波は大衆の導きや救いであったのかもしれませんが。しかし水琴は自然の音風景から大切な高周波を切り取ってあなたの暮らしに持ち込むためのツールなのです。

風水が宗教では無いように、水琴音風水も一つの思想や価値の中にはありません。動物、植物が必要とする自然界のエネルギーを供給するものなのです。それが「天の気」の本質ではないでしょうか。

ストレスで眠れない夜を幾度も過ごしてきた人が、いとも簡単に安眠するのは、誰かの恩恵ではなく、物理的に必要な揺らぎと高周波を水琴が提供するからです。

懐疑心で鎧をかぶった人が近くにいる時は、小さな音でさりげなく流す事を勧めます。そういう人は「この音は何だ」と身構えてしまうので、水琴の音が判断の対象になってしまうのです。そうすると、好き、嫌いという表層意識で聞くことになってしまい「あきる」事になってしまいます。

どんなに大好きな音楽でも、何回も同じものは聞いていられませんか。それは無常なる状態を望む脳が、同じ状況の繰り返しに耐えられなくなってしまうからです。

その状態に陥らない為にも、さりげなくかけておくのがいいのです。

天の気は、あなたの内と外を支配しています。高周波という振動で、水琴はあなたの外の世界、「無常空間」の周波数を上げていきます。そして「絶対時間」の永続性が、あなたの内なる世界を無限の喜びの方向へと導くのです。

天の気はそうして、あなたの内と外からあなたを導いていきます。その流れを素直に、お腹を出して日向ぼっこする子猫のように、完全に委ねた状態で受け入れて下さい。それが「積極的に委ねる」ということなのです。

龍の動きが地の気を調整する

変化するもの、それは水に象徴されてきました。気体、液体、固体と簡単に姿を変化させ、あらゆる生物の大半を構成する水。

風水ではその水の動きを「龍」として観察し、追いかけて、恐れ、崇拜してきました。

水琴音風水では、天の気を降ろす水琴の音と共に地の気を調整する為に水の音を使います。水はパワースポットには必ず存在します。そしてその場のパワーを転写して運ぶ大切な役割を担ってきたとされています。

水の音は様々です。雨の音、水滴の音、水源の音、せせらぎの音、川の音、

海の音。そして生命の音は水の音と言えるかもしれませんね。

水の音が天を舞う龍のようにダイナミックに変化することで、あなたの暮らす無常空間の地の気を整えていくのです。

こうして出来上がった水琴音風水は、「天の気」を降ろし、「地の気」を整えてくれます。

あなたが住まいの音風水として使うのであれば、太極柱という概念も頭にいれて水琴音風水を使うと、さらに効果は上がります。

風水の概念に「太極柱たいぎょくちゅう」というものがありません。それは住空間で日本では「大黒柱」と呼ばれる中心の柱の事をさします。現代の住環境事情では、柱を中心に建てることは難しいのではないのでしょうか。例えば、マンションにお住まいの方には、もちろん柱を建てることなんて土台無理な事ですよね。ところが作ってしまうことが水琴には可能なのです。

音風水の活用法として、水琴を置くポイントをまず見つける方法があります。そしてそのポイントに水琴の音を入れることが効率よく天の気を降ろす方法でもあるのです。

まずあなたの住まいの間取りを書き出して下さい。そしてその絵をダンボールの切れ端にかいてハサミで切ってください。その角にピンで糸をとめて糸の反対側に重しをつけます。ダンボールをぶら下げ、重しをブランとさせた時、出来た線をダンボールに書きます。それを三ヶ所で行ってその線が交わる点が重心でしたね。(理科で学んだような・・・)その重心が太極柱の場所です。

そのポイントはどこにあたりますか？廊下の真ん中だったり、お風呂だったり、そんな所に柱が建てられるわけがありませんね。

そこで音風水では、その点から等間隔の2点に音を持っていくのです。リビングであったり子供部屋であったり台所であったりどこでもかまいません。すると家全体が一つの音の柱として天の気と繋がる事が出来るのです。水琴の高周波にはそれ程の力があつたのです。

もちろん一箇所で流しても充分効果はありますが、太極柱を意識することであなたの家全体を気の流れの中におくことが出来るので、出来ればやってみて

ください。難しいと思われるときはご相談ください。

水琴音風水の活用方法

あなたの周りに広がる世界は日常の世界です。あなたが「普通」と呼ぶ、当たり前の世界です。その価値観は、あなたやあなたの共振する価値観で出来上がっています。つまりあなた以上のものではないのです。

あなたを支配してきた価値観は、家族や親戚や友達や職場の仲間と共振しています。そしてそのあなたにとって当たり前前の周波数の中であなたはご利益を求めてきたのです。

ではどうすれば高周波の世界へ行けるのでしょうか。あなたは百段飛ばしのようなマジックを望むより、あなたの現実から一段ずつ理想的な状況へと近づいていくことを考えましょう。

その方法とは、精神修行ではなさそうですね。なぜならあなたは、これまで嫌というほど修行をしてきました。でも心は「コロコロ変わる」のです。今この本を読んでいるときは「やるぞ！」と思っていたとしても、テレビを付けるやいなや美味しいもののお店の情報の虜です。

ということは外からの力で矯正することが肝心だと分かります。茶道、華道など「道」とつくものはまず形を覚えることから始める事が多いですね。

守・破・離

伝統を受け継ぐ者にとって忘れてはいけないものに、「守・破・離」という教えがあります。師匠のいうことをまずは「守る」。あなたは守ることが出来ないのに自分の意見だと思って主張し、恥を書いた経験がありませんか。

「守る」ということは、あなたが別の価値観を受け入れる第一歩なのです。まずは教えを何も考えずに守ることが大切なのです。薄い知識が先行する現代においてなおざりにされていることがこの「守る」ということかも知れません。

規則を守ることがカッコ悪いという風潮はいつから始まったのでしょうか。成人になってから心が不安定になって、いつもイライラして、定まって何かをするにも「こんなことをしていても大丈夫なのだろうか」という恐怖心にも怯えている。そういう不安定な気持は「守る」ことがないからなのかもしれません。

あなたがもしそんな気持を持って水琴を聴いているのであれば、一つ提案があります。

あなた自身でルールを一つ作って下さい。例えば「朝七時にコーヒーを飲む」「毎日八時三十分のバスに必ず乗る」「昼食はいつもの喫茶店で食べる」「コンビニで毎日百円募金をする」何でもいいのです。そのルールを「守る」こと。これが「道」を歩む事なのです。

私は毎日八時三十分にオフィスに行ってメールをチェックします。毎週土曜日の夜にメルマガの記事を書きます。メルマガは五百回を越えましたが、同じパターンを守ってきました。次のステップが見えてくるまでそのパターンを守っているのです。これは一つの道なのです。

師匠と出会ったなら師の道を模倣してその道理を守ります。徹底的に守って師の生き方を学びます。そして、その一つの道を通して学んだものが多く深ければ深いほど、あなたは「道そのもの」 〓 「守ってきたもの」を「破る」時がくるのです。その日は来ないかもしれませんが。守ることで一生を終えてもいいのです。師はそれだけの師だったのです。

師が偉大であるなら、そしてあなたがそこまで到達できたのであれば、あなたは、その道の途中で己を発見するのです。己と出会った時、「守」は破られなければなりません。破らなければいけないのです。

あなたはその価値観を十分自分のものにできるまで守りました。そしてどうしても守りきれない何かに出会ったとき、あなたは「破る」のです。打ち破るのです。でも守ることができていないうちは、「破る」というのは妄想に過ぎません。破るということは守ることができて初めて可能になるのです。

そして己と出会えたあなたは、「離れる」ことになります。守・破・離の過程

こそが「道」であり「己」と向きあう方法なのです。

例えば、茶道を学ぶことを選んだのであれば、あなたがこの師から学びたいという師を見つければなりません。そして最高の師から学ぶ時その一挙一動を模倣し、その手順を守らなければなりません。守りぬくまで守のです。

オイゲル・ヘリゲル氏が弓を阿波師範から学んだように、疑うことも問うことも全て止めて、全てを委ねることで習得したように、あなたは徹底的に守らなければなりません。

その一つの「道」の中であなたが幸運ならあなたはあなたと出会うことが出来るのです。あなたが周囲からこういう人だよと言われてそうかもしれないと思いつながら、でもちよっとおかしいなと思ってきた「あなた」と出会えるのです。

水琴の音を聴きながらここまで読んでくれたあなたは、少し疑問を感じているはず。そんなこと言われても私はお茶に興味ないし、お華にも興味ないし……。そんなあなたに、水琴の音は「守・破・離」の道を誘導してくれます。

「守」とは水琴を聴くこと。ただひたすら聴くこと。水琴をあなたの生活空間のある場所に置いて流し続けること。徹底的にそのことを実行してみてください。水琴はあなたの師としてあなたを導いてくれるはず。

出来るだけ長く。そして水琴音風水の中に常にどっぷりとつかうことです。高周波の天の音と躍動する地の音があなたを導いてくれます。そうすることであなたは、水琴の道Ⅱ「水火（みずほ）の道」へと向かい始めるのです。

あなたを超える

そして対面した自己。あなたとは一体どんな人でしたか。

自由に流れる人の気は、龍のごとく天を舞うとされてきました。それはあなたの理想でしょうか。水琴音風水で目指すものは天の気を降ろし、地の気を整え、あなたの人の気が自由に動ける状態を作り出すことでした。

水琴を寝る時に聴くと、ある一定の夢をみるという方がいらつしやいました。

又、音が光として見えるという人もいらっしやいました。水琴をカメラにおさめると紫の光が入る事がよくあります。

あなたが「水火の道」を歩むことで、今広げようとしている世界は一体どんな世界なのでしょう。

それはあなた次第です。

お金がなくて困っている時に、ベッドに横たわってれば、あなたの望むお金が入ってくるでしょうか。世界の平和を部屋の中で祈ってれば、世界の平和が訪れるでしょうか。友人の病気が治って欲しいと自分の部屋で水琴を聴いていればそれでいいのでしょうか。

井戸を登る力を水琴音風水は提供するのです。その一步を踏み出すのはあなたなのです。

心の導くままに行動してみてください。あなたが無理に描いた設計図ではなく、あなたの感謝の気持ちが導く方向へ、それが分からなければ今やっていることを全力で行って下さい。

水琴音風水は、あなたが、気が付かない間に、その道へと導いてくれるはずです。あなたの道にゴールはありません。今がゴールでありスタートです。

その生命の繰り返しの中でいつも感謝して喜びと共に歩んでいけるようになれば、あなたの理想はほとんど実現したといえます。

あなたはあなたを超えたのです。

水琴音風水が出来ることはそこまでです。あなたには揺ぎ無い自己が、出来上がったのです。それはあなたという自我を否定することで完成した、という事を忘れてはいけません。

感謝の気持ちで喜びと共に、大いなる人生を共に歩いて行こうではありませんか。水琴音風水はそんなあなたが大好きなのです。

自由自在な人生

気の流れを読むことから、気の流れを降ろして調整することまで、あなたは学んできました。そして内と外のバランスを整え、自我を超えたところにあなたの幸福は見つかるでしょうか。

水琴はいつも、どこでも、あなたを守っています。

瞬間、瞬間、打ち寄せてくる様々な感情、身体のコМПレックス、過去のトラウマ、自我という勘違いを超え、本当の自分として生きて行けるようになることが出来るのでしょうか。

水琴という師を超えられるか超えられないかはあなた次第です。

あなたの望むように現実には流れてきました。そしてこれからもただ流れていくのです。

「気」の流れを使いこなすという大きな課題は、流れている生命の営みを知ること、そしてその流れに乗ること、委ねることでも可能となるのです。

水琴音風水にただ委ねてみてください。肩の力を抜いてホットヨガをやるくらいに気持ちで、その中へ入って行って下さい。そうすることで、あなた自身が龍のごとく完全に自由な存在となり、自由自在に喜びの中で暮らしていただける日々がスタートするのです。